

かながわ高齢協の会員施設は、地域との様々な係わりあいをもちながら施設等を運営しています。ここではそうした係わりあいを紹介していきます。
第10回は藤沢市の特別養護老人ホームラポール藤沢の活動をご紹介します。

いきいき福祉会は1993年に設立され、翌1994年に特別養護老人ホームラポール藤沢が、藤沢市稲荷に開設されました。いきいき福祉会は生活クラブ組合員の寄付により設立された社会福祉法人であり、設立当初から「参加型福祉」を掲げ、誰もが参加できる地域福祉の仕組みを作ってきました。

認知症が原因で行方が分からなくなったとして、2016年に全国の警察に届け出があった行方不明者は前年比26.4%増の1万5432人でした。12年の統計開始から4年連続で増え、過去最多を更新し続けています。

2015年1月厚生労働省は関係府省庁と共同で認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）を策定し発表しました。7つの柱のひとつに「認知症など高齢者にやさしい地域づくり」があり、地域での見守り体制を整備する方向性が示されました。

藤沢市では2009年10月1日から8時～20時の間で、藤沢署あるいは藤沢北署から依頼があったとき、防災行政無線を使用し、行方不明者の搜索等の放送を実施しています。また、併せてふじさわ防災ナビ～ツイッターでも同様に行方不明者の情報を住民に提供しています。しかしながら、防災無線やツイッターによる市民への呼びかけだけでは、不特定多数への一方的な情報提供となっており、一定の効果はあるとしているが、自分が探すという当事者性に欠ける可能性を孕んでいます。

そこで、メルシャン株式会社藤沢工場が藤沢市と「地域活性化に資する包括的連携協力協定」を2017年3月に締結したことをきっかけに、翌4月から連携テーマ「安心」に関連して明治地区『互助型認知症セーフティネット』の構築の取り組みをSOY LINK（アプリ：パナソニック提供）といきいき福祉会が協働で進めることになりました。

『互助型認知症セーフティネット』は、行方不明者のご家族から行方不明情報を受け付ける「見守りセンター」（いきいき福祉会）と行方不明情報を受けて近隣の搜索に参加する「見守りサポーター」（メルシャン工場と地域住民）、そして参加者全員をリアルタイムにつなぐSOY LINKの「地域見守りセーフティネット掲示板」によって構成しています。

声掛け体験マップ



検索訓練 検索マップ



いきいき福祉会が「認知症サポーター養成講座」を積極的に開催して「見守りサポーター」への登録を増やし、6月と9月に「見守りチャレンジ」と命名して行方不明者搜索模擬訓練を開催しました。9月に行われた2回目の開催では70名の参加がありました。さらに地域住民の多くの皆様にも参加いただくことを計画しております。

地域の皆様との地元企業と協働して、認知症になっても安心して暮らせる街を目指して・・・



特別養護老人ホーム ラポール藤沢

- ◇事業内容：特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービス、居宅支援介護、在宅支援センター、神奈川県認定就労訓練事業、緊急通報サービス、給食サービス
- ◇設置主体：社会福祉法人いきいき福祉会
- ◇理事長：小川 泰子
- ◇所在地：〒251-0862 藤沢市稲荷345番地
TEL 0466-83-4165 / FAX 0466-83-1769